

「子の監護状況に関する陳述書」の作成について

津家庭裁判所

子の監護状況に関する陳述書（様式1または様式2）を作成する場合には、記載例を参考にして、下記の事項についてできるだけ具体的に記載してください。資料についても、下記に示したく >内の例を参考にして、陳述書とは別に書証等として提出してください。ただし、既に書証等として提出済みの資料を、改めて提出する必要はありません。陳述書の本文中には、関連する書証等の番号等を記載してください。

この陳述書は、親権者等について審理をする上で重要な参考資料になります。また、陳述書は相手に開示されますので、非開示を希望する情報は記載しないでください。

記

1 私の生活状況

(1) 生活歴

○学歴，職歴，婚姻・離婚歴，転居歴等，これまでの主な出来事

(2) 就労状況

○勤務先，仕事内容，勤務時間，休日，通勤方法・時間，残業の有無・頻度等

○無職の場合には，その理由及び今後の就労可能性

(3) 経済状況<資料：源泉徴収票，確定申告書，給与明細書，ローン明細書等>

○月収とボーナス，負債（借りた目的，毎月の返済額，負債総額），親族からの援助など

(4) 心身の状況<資料：診断書等>

○現在の健康状態等

○主な病歴，受診歴等

(5) 家庭の状況

ア 一日のスケジュール

○平日・休日別，起床から就寝まで

イ 住居の状況<資料：間取り図，家賃に関する資料など>

○間取り，持ち家の場合の所有者，賃貸の場合家賃など

(6) 同居家族とその状況

○同居者の氏名，生年月日，職業，収入，健康状態等

2 面会交流の実情

○面会交流を実施している場合には，その頻度，具体的方法，子の反応等

○面会交流を実施していない場合にはその事情と今後の見通し

3 子の監護方針

(1) 今後の監護方針

○誰がどのように子を監護するか，転居・転校・転職の予定など

- (2) 監護補助者（今後子の養育を援助してくれる人）の状況
 - 監護補助者の氏名，続柄，年齢，勤務状況，健康状態，具体的な援助内容
- (3) 親権者（監護者）となった場合の，相手と子の交流についての考え
- (4) 相手が子を監護することになった場合に心配なこと

4 子の状況（お子さんが複数いる場合は，お子さんごとに記入してください。）
（お子さんと別居している親は，分かる範囲で記入してください。）

(1) 成育歴や監護の実情＜資料：母子健康手帳，園の連絡ノート，通知表など＞

ア 成育歴

○出生時・入園・入学の年月日，出生時の状況や発達の状況，印象に残る出来事，心配した出来事，家庭内の出来事（転居，転職，病気，事故）など

○現在の在籍園・在籍校の名前，所在地，電話

イ 監護の実情

○いつごろ，誰がどのような監護をしてきたか（授乳，入浴，おむつ交換，食事の世話，健康診断，各種検診，予防注射，子の夜泣きや病気への対応，保育園や習い事の送迎，懇談会，授業参観等の役割分担など。）

(2) 心身の状況

○現在の身長及び体重

○健康状態（既往歴，持病，通院の有無などを具体的に記入）

(3) 子の性格，行動傾向

○性格，行動傾向

○好きな遊び，好きなテレビ番組，習い事の有無とその内容

(4) 一日のスケジュール（お子さんと同居している親のみが記入）

○誰とどのように過ごしているかなど

(記載例)	時刻	備考
起床	: 頃	起こす人は
朝食	: 頃	一緒に食事をする人は
登校・登園	: 頃	幼稚園等に送って行くのは
昼食（家にいる場合）	: 頃	一緒に食事をする人は
下校・降園	: 頃	幼稚園等に迎えに行くのは
夕食	: 頃	一緒に食事をする人は
就寝	: 頃	寝かしつけるのは

(5) 父母の紛争に対する子の認識（父母の紛争を子がどのように思っているかなど）